

## 4 湿害

### (1) 湿害の様相

冷夏長雨では土壤水分が過多となり、土壤中の酸素不足によって根腐れを起こす。その実態は雨害と同じである。特に水田転作地においてその被害が大きい。

キクでは育苗期、定植初期、生育期を通じその被害があり、生育後期においても萎凋性立枯病、半身萎凋病となって被害がある。特に水田に囲まれたキク圃場で、地下水位が高く、排水が不良な場合に湿害の被害を大きくする。

### (2) 湿害の対策

キクは土壤水分に敏感で、品質や生育に大きく影響を受ける。土質的にも、透水性のよい土壤で栽培するとともに、滞水後はなるべく早く排水し、通気性を高める中耕と、肥料流亡を補足する追肥が必要であり、薬剤散布によって病害虫を防ぐ。通風をよくし、多湿にならないように調節する。